記入例・記入要領（様式２－１）改正前基準

様式２－１
【小平高等専門学校】

高　等　専　門　学　校　現　況　表（令和●年５月１日現在）

事項	記入欄	備考
フリガナ 設置者	ガッコウホウジンキコウガクエン 学校法人機構学園	
フリガナ 高等専門学校の名称	コダイラコウトウセンモンガッコウ 小平高等専門学校	併設校：ＮＩＡＤ大学
高等専門学校本部の所在地	東京都小平市学園西町１－２９－１	

教育組織及び教員・教育支援者等【基準２・６・８】

準学士課程

学科の名称	修業年限	学級数	入学定員	編入学定員	収容定員	称号	平均入学定員充足率	開設年度	別地校地	所在地	備考
	年	学級	人	（年次）人	人		倍				
機械工学科	5	1	40	（３年次）若干名	200	準学士	1.00	S40	無	東京都小平市学園西町１－２９－１（小平キャンパス）	
物質工学科	5	1	40	（３年次）若干名	200	準学士	0.99	S40	無	同　上	
建築学科	5	1	40	（３年次）若干名	200	準学士	0.91	S40	無	同　上	
商船学科	5.5	1	40	（３年次）若干名	240	準学士	1.00	S42	無	東京都千代田区一ツ橋２－１－１（竹橋キャンパス）	
総合工学科	5	2	80	（３年次）若干名	400	準学士	0.98	H25	有	小平キャンパス及び竹橋キャンパス	キャンパス選択制
計	—	6	240	—	1,240	—	—	—	—	—	

専攻科課程

専攻の名称	修業年限		入学定員	編入学定員	収容定員		平均入学定員充足率	開設年度	別地校地	基礎学科等名称	備考
	年		人	（年次）人	人		倍				
生産建設工学専攻	2		12	—	24		1.29	H12	無	機械工学科、建築学科、総合工学科	海事工学専攻については秋期入学のため、平均入学定員充足率はH○～○年度データをもとに算出した。
応用物質工学専攻	2		4	—	8		1.26	H12	無	物質工学科	
海事工学専攻	2		4	—	8		0.80	H12	無	商船学科	
計	—		24	—	48		—	—	—	—	

学生募集停止中の学科・専攻：電気電子工学科（平成25年度学生募集停止、在学生数120人）、情報工学科（平成25年度学生募集停止、在学生数120人）

教育組織及び教員・教育支援者等【基準２】

準学士課程（一般科目担当）

学科等の名称	専任教員 教授	准教授	講師	助教	計	基準数	助手	非常勤教員
一般科（小平）	5 人			人	18 人	—		5 人
一般科（竹橋）	4				12	—		5
機械工学科	0	0	0	2	2	—		0
計	9	13	6	4	32	26	0	10

一般科目の授業科目を担当する固有の組織等を有する場合は記入してください。

該当しない事項の欄には、「斜線」を引いてください。

※別地校地を有する学科等の名称	学級数	専任教員 教授	准教授	講師	助教	計	複数の校地において教育を行う専任教員	助手	非常勤教員
○○学科（○○キャンパス）（△△キャンパス）	学級	人	人	人	人	人	両キャンパスで授業を担当する専任教員は教授○人	人	人

準学士課程（専門科目担当）

学科等の名称	専任教員 教授	准教授	講師	助教	計	基準数	うち教授・准教授	助手	非常勤教員
機械工学科	6 人	4 人	0 人	1 人	11 人	— 人	— 人	0 人	— 人
物質工学科	4	6	1	0	11	—	—	0	—
建築学科	4	3 (1)	0	3	10	—	—	0	—
商船学科	3	5 (1)	0	1	9	—	—	0	—
計	17	18	1	5	41	41	34		

一定の要件を満たす実務家教員を「みなし専任教員」とすることが可能です。「みなし専任教員」がいる場合は、その人数を括弧内に内数で示してください。
また、該当する教員がいた場合、様式２－３の該当者備考欄に「みなし専任」と記載してください。

※別地校地を有する学科等の名称	学級数	専任教員 教授	准教授	講師	助教	計	複数の校地において教育を行う専任教員	助手	非常勤教員
総合工学科	学級	人	人	人	人	人	両キャンパスで授業を担当する専任教員は准教授○人		
電気電子コース（小平キャンパス）	1	3	4	1	2	10			
制御情報コース（竹橋キャンパス）	1	4	5	1	2	12			

教員以外の職員等

職種	専任	非常勤	
事務職員（うち主に教育支援者）	30 （ 28 ） 人	5 （ 4 ） 人	35 （ 32 ） 人
技術職員（うち主に教育支援者）	14 （ 14 ）	3 （ 3 ）	17 （ 17 ）
図書館専門的職員その他の専属の教員または事務職員等（うち司書資格保有者）	2 （ 2 ）	0 （ 0 ）	2 （ 2 ）
指導補助者	0	1	1
その他の職員	0	5	5
計	46	14	60

準学士課程の学習・教育の成果等【基準７・８】

準学士課程

年度	卒業者数	就職希望者数	就職者数	就職率	進学希望者数	進学者数	進学率	主な就職先業種	主な進学先の学部・専攻科等
	人	人	人	%	人	人	%	製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、建設業	工学部、理工学部、理学部、農学部、機械工学専攻
平成○年度	240	160	160	100.0	80				
令和○年度	237	158	158	100.0	79				
令和○年度	238	160	160	100.0	78				
令和○年度	240	160	160	100.0	80	80	100.0		
令和○年度	236	158	158	100.0	78	77	98.7		
計	1,191	796	796	〔平均〕 100.0	395	393	〔平均〕 99.4		

５年間の平均値を入力してください。

専攻科課程

年度	修了者数	就職希望者数	就職者数	就職率	進学希望者数	進学者数	進学率	主な就職先業種	主な進学先の研究科等
	人	人	人	%	人	人	%	製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、建設業	工学研究科、情報工学研究科、自然科学研究科、物質工学研究科
平成○年度	48	30	30	100.0	18	18	100.0		
令和○年度	48	28	28	100.0	20	19	95.0		
令和○年度	47	30	30	100.0	17	17	100.0		
令和○年度	48	29	29	100.0	19	18	94.7		
令和○年度	46	30	30	100.0	16	16	100.0		
計	237	147	147	〔平均〕 100.0	90	88	〔平均〕 97.9		

学生環境及び学習支援等【基準３】

校地等

区分	基準面積	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
校舎敷地面積（小平キャンパス）	—	50,000 ㎡	2,000 ㎡	1,000,000 ㎡	1,052,000 ㎡	ＮＩＡＤ大学と共用
校舎敷地面積（竹橋キャンパス）	—	50,000	—	—	50,000	
運動場用地（小平キャンパス）	—	50,000	0	50,000	100,000	
運動場用地（竹橋キャンパス）	—	50,000	—	—	50,000	
校地面積計	12,400 ㎡	200,000	2,000	1,050,000	1,252,000	
その他敷地面積（小平キャンパス）	— ㎡	10,000 ㎡	0 ㎡	20,000 ㎡	30,000 ㎡	寄宿舎２棟、地域共同センター
その他敷地面積（竹橋キャンパス）	—	10,000	—	—	10,000	寄宿舎２棟

校舎等

校舎面積等

区分	基準面積	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計
小平キャンパス校舎	— ㎡	30,000.00 ㎡	3,000.00 ㎡	30,000.00 ㎡	63,000.00 ㎡
竹橋キャンパス校舎	—	30,000.00	—	—	30,000.00
校舎面積計	15,206.60	60,000.00	3,000.00	30,000.00	93,000.00
小平キャンパスその他の建物	—	70,000.00 ㎡	— ㎡	70,000.00 ㎡	140,000.00 ㎡
竹橋キャンパスその他の建物	—	70,000.00	—	70,000.00	140,000.00

管理施設等

区分	校長室	教員室	会議室	事務室	保健室	学生控室
小平キャンパス	1 室	80 室	2 室	3 室	1 室	1 室
竹橋キャンパス	0	30	2	3	1	1

教室・研究室等

区分	講義室	演習室	実験・実習室	研究室	情報処理学習施設	語学学習施設
小平キャンパス	30 室	5 室	30 室	5 室	2 室	1 室
竹橋キャンパス	30	5	20	5	1	1

図書館・図書資料等

図書館等の名称	面積	閲覧座席数	開館時間	
小平図書館	3,000 ㎡	130 席	月～金曜日 9:00～20:00 ただし、休業 土曜日	ＮＩＡＤ大学と共用
竹橋図書館	1,500	75		

それぞれ電子ジャーナルを含めた数を入力してください。

図書館等の名称	図書〔うち外国書〕	学術雑誌〔うち外国書〕	電子ジャーナル〔うち外国書〕	視聴覚資料その他	
小平図書館	60,000 〔10,000〕 冊	10,000 〔2,000〕 種	5,000 〔1,000〕 種	700 点	ＮＩＡＤ大学と共用
竹橋図書館	30,000 〔5,000〕	3,300 〔310〕	3,000 〔 300〕	500	
計	90,000 〔15,000〕	13,300 〔2,310〕	8,000 〔1,300〕	1,200	○○年度図書館調査回答

体育館・講堂・寄宿舎・課外活動その他の厚生補導に関する施設

小平キャンパス	・体育館、小平学生会館・食堂、こだいら男子寮、こだいら女子寮
竹橋キャンパス	・体育館、竹橋学生会館・食堂、たけばし男子寮、たけばし女子寮

附属施設等

区分	附属施設・センター等の名称
基準施設	実験・実習工場、練習船機構丸
その他の施設	

その他の事項	
設置基準第28条に係る特例の認定	

教育課程等に関する事項の改善に係る先導的な取組に関する特例の認定を受けている場合には、当該特例の認定を受けている学科等、特例対象となる設置基準上の規定及び特例認定の期間を記載してください。

（注）本様式のほか、「様式２－２平均入学定員充足率計算表」・「様式２－３担当教員一覧票」・「様式２－４卒業（修了）者進路実績票」、「様式２－５ウェブサイト掲載項目チェック表」を作成の上、併せて提出してください。

記入例・記入要領（様式２－１）改正前基準

記入要領（改正前基準）

【高等専門学校設置基準の一部改正（令和４年 10 月 1 日施行）に伴う対応について】

● 高等専門学校設置基準附則第４条第７号の規定に基づき、教員に関する規定の適用について従前の例によることとしている場合には、本記入要領及び「（改正前基準）」の様式を使用してください。

● 下記のうち、改正前の高等専門学校設置基準を引用する場合には、「（旧）高等専門学校設置基準」と記載しています。

○ 評価実施年度の５月１日現在（別に定める場合を除く。）で作成してください。なお、該当しない事項は、当該欄は削除せず、「斜線」を引いてください。

○ 「設置者」及び「高等専門学校の名称」の変更を作成日以降に予定している場合は、「備考」の欄にその旨を記入してください。

○ 「高等専門学校本部の所在地」の欄は、高等専門学校本部の所在地（住居表示）を記入してください。高等専門学校を設置する法人本部の位置ではありませんので注意してください。なお、高等専門学校本部の所在地の変更を作成日以降に予定している場合は、「備考」の欄にその旨を記入してください。

１．「教育組織及教員・教育支援者等【基準２・６・８】」の欄について

① 「準学士課程」の欄

ア 「学科の名称」の欄

・ 学科の単位で記入してください。

・ 廃止又は改組転換等により学生の募集を停止し、学生の卒業を待って廃止予定の教育研究組織（以下「廃止予定組織」という。）については、この欄に記入せず、「学生募集停止中の学科・専攻」の欄に記入してください。

イ 「修業年限」「学級数」「入学定員」「編入学定員」「収容定員」の欄

・ 「学科の名称」の欄に記入した組織単位ごとに、修業年限、学級数、入学定員、編入学定員、収容定員を記入してください。

・ 編入学定員を設定している場合は、編入学を行う年次とともに記入してください。編入学試験を募集定員若干名で実施している場合は、「若干名」と記入してください。

ウ 「称号」の欄

・　「学科の名称」の欄に記入した組織単位ごとに、授与する称号の名称を記入してください。

エ　「平均入学定員充足率」の欄

・　平均入学定員充足率とは、評価実施年度を含めた直近５年間における入学定員に対する各年度の入学者の割合の平均を指します。

・　平均入学定員充足率は、様式２－２「平均入学定員充足率計算表」を用いて算出してください。

・　「平均入学定員充足率」の欄には、「学科等の名称」の欄に記入した組織単位ごとに、各年度の入学者（学年進行中の場合は設置後経過した年度分）に対する各年度の入学定員充足率（年度ごとに小数点第３位を切り捨て）を加算し、５年（学年進行中の場合は設置後経過した年数）で割った数値（小数点第３位を切り捨て）を記入することになります。

オ　「別地校地」の欄

・　「学科の名称」の欄に記入した組織のうち、同一の組織における教育活動を２以上の校地において行う場合は、この欄に「有」と記入してください。

・　「別地校地」の欄に「有」と記入した場合は、「教育組織及び教育支援者等【基準２】」の欄の「※別地校地を有する学科等の名称」の欄にも記入が必要となります。

カ　「所在地」の欄

・　学科の所在地（住居表示）を記入してください。なお、２以上の校地において教育活動を行う場合で当該校地にキャンパス名称があれば、当該所在地の後に「〇〇キャンパス」と付記してください。

キ　「備考」の欄

・　「学科の名称」の欄に記入した組織に特記すべき又は参考となる事項がある場合は、記入してください。

②　「専攻科課程」の欄

ア　「専攻の名称」の欄

・　専攻の単位で記入してください。

・　廃止予定組織については、「学生募集停止中の学科・専攻」の欄に記入してください。

イ　「基礎学科等名称」の欄

・　「専攻の名称」の欄に記入した組織の基礎となる学科（又はコース等）を記入してください。なお、基礎となる学科等の所在地と異なる場合は当該専攻の所在地（又はキャンパス名称）を併記してください。

ウ　上記以外の欄

・　準学士課程に準じて記入してください。

２．「教員及び教育支援者等【基準２】」の欄について

①　「準学士課程（一般科目担当）」の欄

ア　「学科等の名称」の欄

・　「教育組織及び教員・教育支援者等【基準２・６・８】」の「学科の名称」の欄に掲げる組織単位で記入してください。ただし、一般科目を担当する専任者の数（後述イ）を０人として計上する学科については、記入不要です。

・　「教育及び教員・教育支援者等【基準２・６・８】」の欄に掲げる学科以外に、一般科目の授業科目を担当する固有の組織等を有する場合は、当該組織についても記入してください。

・　廃止予定組織は記入しないでください。ただし、当該廃止予定組織のみに所属する教員がいる場合には記入してください。

イ　「教授」「准教授」「講師」「助教」の欄

・　学科等（一般科目の授業科目を担当する固有の組織等を含む。）に所属する教員のうち主に一般科目を担当する専任者の数を記入してください。

・　複数の学科等で授業科目を担当する教員については、高等専門学校側での判断により、１つの学科等の欄に計上してください。

・　特任教員、嘱託教員等の再雇用教員については、（旧）高等専門学校設置基準第９条に鑑み、当該教員が当該高等専門学校における教育研究活動を本務とし、これに従事する時間などの割合が他に従事する業務などと比べて著しく高い、フルタイム勤務の場合には、専任の教員として本欄に計上し、短時間勤務の場合には、非常勤教員として「非常勤教員」の欄（後述オ）に計上してください。

・　当該組織に所属する専任の教員であって、準学士課程の授業科目を担当しない専任の教員は算入できません。授業科目を担当しない専任の教員には、専ら研究や管理運営にのみ従事する教員のほか、評価実施年度において休職や長期海外渡航者・人事交流等で、年間を通じて授業を担当しない専任の教員を含みます。

・　「みなし専任教員」がいる場合は、その人数を「専任教員」欄のいずれか該当する欄に「（　）人」として、括弧内に内数でお示しください。また、該当する教員について様式２－３の備考欄に「みなし専任」とご記載ください。

ウ　「基準数」の欄

・　（旧）高等専門学校設置基準第６条に定める専任の教員数を記入してください。

エ　「助手」の欄

・　学科等（一般科目の授業科目を担当する固有の組織等を含む。）に所属する助手の数を記入してください。

オ　「非常勤教員」の欄

・　非常勤講師の数を記入してください。なお、客員教員や短時間勤務に該当する教員等の専任の教員には該当しない者も含まれます。

・　一般科目及び専門科目の双方を担当する非常勤教員については、高等専門学校側での判断により「準学士課程（一般科目担当）」又は「準学士課程（専門科目担当）」（後述②）のいずれか一方に計上してください。

・　他の学科等に所属する専任の教員であって、当該学科等の授業科目を担当する教員は、この欄には算入しないでください。

カ　「※別地校地を有する学科等の名称」の欄

・　「※別地校地を有する学科等の名称」の欄には、「教育組織及び教員・教育支援者等【基準２・６・８】」の「別地校地」の欄に「有」とした場合は記入してください。

・　「専任教員」の欄には、キャンパスごとに配置する当該組織の専任教員数を記入してください。この場合、授業科目を担当するキャンパスに着目して専任教員数を算入し、複数のキャンパスにおいて同一の専任教員が授業科目を担当する場合はダブルカウントして「複数の校地において教育を行う専任教員」の欄に内訳を記入してください。

・　「助手」の欄には、キャンパスごとに配置する当該組織に所属する助手の数を記入してください。

・　「非常勤教員」の欄には、キャンパスごとに配置する非常勤講師の数を記入してください。他の学科等に所属する専任の教員であって、当該学科等の授業科目を担当する教員は、この欄には算入しないでください。

・　なお、別地校地を有する学科等に該当する事例は、次のとおりです。

a. 各キャンパスで５年間の教育を完結して行い、かつ学生がいずれのキャンパスで学ぶかを選択する場合（いわゆるキャンパス選択型）

b. 学年ごとに教育研究を行うキャンパスが分かれる場合
（Ａ校地で１年次教育、Ｂ校地で２年次教育）

c. 一部の科目あるいは指定曜日のみ別キャンパスで行う場合
（Ａ校地の学生がＢ校地の必修授業を履修する場合）

②　「準学士課程（専門科目担当）」の欄

ア　「教授」「准教授」「講師」「助教」の欄

・　学科等（一般科目の授業科目を担当する固有の組織等を含む。）に所属する教員のうち主に<u>専門科目を担当する</u>専任者の数を記入してください。ただし、一般科目の授業科目を担当する固有の組織等で、専門科目を担当する専任者の数を０人として計上する場合については、記入不要です。

・　その他の取り扱いは準学士課程（一般科目担当）に準じます。

イ　「基準数」「うち教授・准教授」の欄

・　（旧）高等専門学校設置基準第６条及び第８条に定める専任の教員数を記入してください。

ウ　「非常勤教員」の欄

・　複数の学科等で授業科目を担当する非常勤教員については、高等専門学校側での判断により、いずれか１つの学科等の欄に計上してください。

・　その他の取り扱いは準学士課程（一般科目担当）に準じます。

エ　上記以外の欄

・　準学士課程（一般科目担当）に準じて記入してください。

③　「教員以外の職員等」の欄

・　「事務職員」及び「技術職員」に係る「（うち主に教育支援者）」とは、学科・専攻等において編成された教育課程を遂行するに必要な教育上の支援を担う者をいいます。例えば、教務関係や厚生補導等を担う事務職員、実験実習又は実技の授業科目等の教育活動の支援や補助等を行う技術職員が該当します。

・　「図書館専門的職員その他の専属の教員または事務職員等」とは、図書館の機能を十分発揮させるために必要な司書等の専門的知識を有する職員をいいます。そのうち「（うち司書資格保有者）」とは、図書館法に規定された司書となる資格を有する者が該当します。

・　「指導補助者」とは、授業を補助させる目的で各高等専門学校が定めた、当該授業科目を担当する教員以外の教員、または学生等が該当します。

・　「その他の職員」とは、守衛、自動車運転手、作業員等の技能労務職員等が該当します。

・　契約職員、派遣職員等は、「非常勤」に分類してください。

３．「準学士課程の学習・教育の成果等【基準７・８】」の欄について

①　「準学士課程」の欄

ア　「卒業者数」の欄

・　準学士課程全体での卒業者数を、評価実施前年度を含む過去５年度の年度ごとに、記入してください。

イ　「就職希望者数」の欄

・　アの卒業者数のうち、就職希望者の数を、評価実施前年度を含む過去５年度の年度ごとに、記入してください。

・　就職希望者とは、卒業年度中に就職活動を行い、卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

ウ　「就職者数」の欄

・　イの就職希望者数のうち、就職者の数を、評価実施前年度を含む過去５年度の年度ごとに、記入してください。

・　就職者とは、就職希望者のうち、正規の職員（１年以上の非正規の職員として就職

した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいいます。

エ　「就職率」の欄

・　各対象年度の翌年４月１日の調査時点での就職率を、評価実施前年度を含む過去５年度の年度ごとに、記入してください。

・　就職率とは、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者数で除したものを百分率（小数点第２位を切り捨て）で示してください。

オ　「進学希望者数」の欄

・　アの卒業者数のうち、進学希望者の数を、評価実施前年度を含む過去５年度の年度ごとに、記入してください。

・　進学希望者とは、卒業年度中に進学先の入学試験を受け、卒業後速やかに進学することを希望する者をいい、卒業後の進路として「就職」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

カ　「進学者数」の欄

・　進学者とは、進学希望者のうち、正規の学生として最終的に進学した者をいいます。

キ　「進学率」の欄

・　各対象年度の翌年４月１日の調査時点での進学率を、評価実施前年度を含む過去５年度の年度ごとに、記入してください。

・　進学率とは、進学希望者に占める進学者の割合をいい、調査時点における進学者数を進学希望者数で除したものを百分率（小数点第２位を切り捨て）で示してください。

ク　「主な就職先業種」の欄

・　評価実施前年度における就職者の就職先の業種の中で代表的なものを、４～５程度記入してください。

・　就職先の業種の分類に当たっては、日本標準産業分類大分類に従って行ってください。

ケ　「主な進学先の学部・専攻科等」の欄

・　評価実施前年度における進学者の進学先の大学の学部、高等専門学校の専攻科の中で代表的なものを、４～５程度記入してください。

・　具体的な教育機関名（○○高等専門学校、○○大学）の記入は不要です。

②　「専攻科課程」の欄

ア　「修了者数」の欄

・　専攻科課程全体での修了者数を、評価実施前年度を含む過去５年度の年度ごとに、記入してください。

イ　「就職希望者数」の欄

・　アの修了者数のうち、就職希望者の数を、評価実施前年度を含む過去５年度の年度ごとに、記入してください。

・　就職希望者とは、修了年度中に就職活動を行い、修了後速やかに就職することを希望する者をいい、修了後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

ウ　「進学希望者数」の欄

・　アの修了者数のうち、進学希望者の数を、評価実施前年度を含む過去５年度の年度ごとに、記入してください。

・　進学希望者とは、修了年度中に進学先の入学試験を受け、修了後速やかに進学することを希望する者をいい、修了後の進路として「就職」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

エ　「主な進学先の研究科等」の欄

・　評価実施前年度における進学者の進学先の大学の研究科の中で代表的なものを、４～５程度記入してください。

・　具体的な教育機関名（〇〇大学）の記入は不要です。

オ　上記以外の欄

・　準学士課程に準じて記入してください。

４．「学習環境及び学生支援等【基準３】」の欄について

①　「校地等」の欄

ア　「区分」の欄

・　２以上の校地（校舎敷地）を有する場合は、各キャンパス（校舎敷地）単位に区分し、各校舎敷地面積を記入してください。

・　運動場用地が隣接又は近接している場合は、区分して記入し、同一敷地により面積を区分できない場合に限り、校舎敷地面積に算入して「備考」の欄に「運動場用地を含む」と記入してください。

イ　「基準面積」の欄

・　高等専門学校設置基準第 25 条により算出した面積を記入してください。

・　当該高等専門学校の校地を他の学校等と共用する場合は、当該高等専門学校の校地面積を記入するとともに、当該共用する他の学校等の名称、収容定員及び基準面積を「備考」の欄に記入してください。この場合、他の共有する学校等の基準面積を当該高等専門学校の「基準面積」の欄には加算しないでください。

ウ　「専用」「共用」「共用する他の学校等の専用」の欄

・　「専用」の欄には、当該高等専門学校が専用で使用する敷地面積を当該敷地区分により記入してください。

・　「共用」の欄には、当該高等専門学校が他の学校等と共用する敷地面積を当該敷地

区分により記入してください。

・「共用する他の学校等の専用」の欄には、当該高等専門学校の敷地を共用する他の学校等が専用で使用する敷地面積を「その他敷地面積」に記入してください。

エ「備考」の欄

・高等専門学校の校地を他の学校等と共用する場合は、当該共用する他の学校等の名称、収容定員及び基準面積を記入してください。

・キャンパス移転計画等、特記すべき又は参考となる事項がある場合は、記入してください。

②「校舎等」の欄

ア「校舎面積等」の欄

・「校地等」の欄に掲げる校舎敷地区分に従い、上記①「校地等」に準じて各欄に記入してください。

・「基準面積」の欄には、高等専門学校設置基準第25条により算出した面積を記入してください。

イ「管理施設等」の欄

・「校地等」の欄に掲げる校舎敷地区分に従い、「校長室」「教員室」「会議室」「事務室」「保健室」「学生控室」の各欄に室数を記入してください。

ウ「教室・研究室等」の欄

・「校地等」の欄に掲げる校舎敷地区分に従い、「講義室」「演習室」「実験・実習室」「研究室」「情報処理学習施設」「語学学習施設」の各欄に室数を記入してください。

③「図書館・図書資料等」

前年度に日本図書館協会の実施する大学・短期大学・高専図書館調査に回答されている場合は、その値で回答いただいても構いませんが、備考欄に「〇〇年度図書館調査回答」とご記載ください。

ア「図書館等の名称」の欄

・学則等において設置された図書館（室）を記入してください。ただし、学科・専攻の事情により、教職員や学生等への利便性を考慮して任意に置かれた図書室等は含みません。

イ「学術雑誌」の欄

・「学術雑誌」の欄は、「電子ジャーナル」を含めた数を記入してください。

・「電子ジャーナル」の欄は、利用可能なタイトル数を記入してください。

ウ「視聴覚資料その他」の欄

・視聴覚資料その他とは、視聴覚資料のほか、標本など教育活動に必要なその他の資料を含みます。

④「体育館・講堂・寄宿舎・課外活動その他の厚生補導に関する施設」の欄

・　「校地等」の欄に掲げる校舎敷地区分に従い、各欄を記入してください。

⑤　「附属施設等」の欄

・　「基準施設」とは、高等専門学校設置基準第 27 条に定める附属施設をいい、その施設名称を記入してください。

・　「その他の施設」には、上記の基準施設に該当しないその他の施設を記入してください。

⑥　「その他の事項」

・　施設・設備等において、特記すべき又は参考となる事項がある場合は記入してください。

５．「設置基準第 28 条に係る特例の認定」の欄について

高等専門学校設置基準第　28　条により、教育課程等に関する事項の改善に係る先導的な取組に関する特例の認定を受けている場合には、当該特例の認定を受けている学科等、特例対象となる設置基準上の規定及び特例認定の期間を記載してください。

記入例・記入要領（様式２－２）

平均入学定員充足率計算表【小平高等専門学校】　　様式２－２

平 均 入 学 定 員 充 足 率 計 算 表

課程	学科･専攻名	項目	○○年度	○○年度	○○年度	○○年度	○○年度	入学定員に対する各平均比率
準学士	A工学科	入学者数	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	40	0.99
		入学定員	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	40	
		入学定員充足率	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	1.00	
	B工学科	入学者数	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	
		入学定員	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	
		入学定員充足率	0.97	1.00	1.00	1.00	0.97	
	C工学科 ※平成○年度設置	入学者数				80	80	1.00
		入学定員				[illegible]	[illegible]	
		入学定員充足率						
	D’工学科 平成○年度までD工学科、平成○年度よりD’工学科に名称変更	入学者数	40	39	40	[illegible]	[illegible]	0.99
		入学定員	40	40	40	[illegible]	[illegible]	
		入学定員充足率	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	
	E商船学科	入学者数	[illegible]	[illegible]	40	40	40	0.99
		入学定員	[illegible]	[illegible]	40	40	40	
		入学定員充足率	0.97	1.00	1.00	1.00	1.00	
専攻科	AB工学専攻	入学者数	8	9	11	12	12	1.29
		入学定員	8	8	8	8	8	
		入学定員充足率	1.00	1.12	1.37	1.50	1.50	
	C海事工学専攻 10月入学 記載データはH○～○	入学者数	3	3	4	3	3	0.80
		入学定員	4	4	4	4	4	
		入学定員充足率	0.75	0.75	1.00	0.75	0.75	
		入学者数						
		入学定員						
		入学定員充足率						

学科・専攻の名称を記入してください。
改組や廃止等により、評価実施年度以前に学生募集を停止している学科・専攻については記入しないでください。

評価実施年度の入学者数、入学定員を記入してください。

設置以前・改組前の年度については、記入せず、斜線を引いてください。

ここは備考欄として使用し、改組等の状況を記入してください。

秋期入学を実施している場合は、その旨を記入し、評価実施前年度までの過去５年度分のデータを入力してください。

記入要領

○　１つのシートに全学科等のデータを記入してください。学科等の学生募集単位ごとに入学者数、入学定員をそれぞれ記入してください。

１　「学生募集単位」の考え方

・　準学士課程においては学科ごと、専攻科課程においては専攻ごとに記入することを原則とし、募集定員を設定した単位ごとに記入してください。

（例）Ｘ学科の下にＡコース、Ｂコースの複数のコース等を設置しているが、Ｘ学科全体として募集定員を設定している場合

→Ｘ学科を学生募集単位と考えてください。

２　改組等に関する考え方

・　評価実施年度以前に学生募集を停止した学科等については原則記入しないでください。

（例）Ａ学科、Ｂ学科を融合させて、平成30年度にＡＢ学科を設置した場合

→　平成30年度、平成31年度のＡＢ学科のデータを記入してください。
平成29年度以前のＡ学科、Ｂ学科のデータについては記入しないでください。

（例外）平成29年度にＡ学科をＡ’学科に名称変更した場合

→　Ａ’学科として記入してください。
平成27年度、平成28年度のデータについてはＡ学科のものを記入してください。

記入例・記入要領（様式２－３）改正前基準

担当教員一覧表【小平高等専門学校】

様式２－３

●．■▲●の専門分野と担当授業科目

令和●●年５月１日現在

	氏名	職名	学位	校務分担	専門分野	担当授業科目（準学士課程）	担当授業科目（専攻科課程）	実務経験	技術資格	備考
専任教員	小平　太郎	教授	博士（工学）	○○主事、△△委員長	○○工学、△△工学	○○特別研究	△△特別実験	有	技術士	民間企業勤務経験（○年）
	：	：	：			：				
				●●、●●		●●●				
				：	：	：				
	●●　●●	助教	●●	●●、●●	●●、●●	●●●●、●●●●				
	●●　●●	助教	●●	●●、●●	●●、●●	●●●●、●●●●	●●●●、●●●●	有		みなし専任
	：								：	
	●●　●●	特任教授	●●	●●、●●	●●、●●	△△工学実験	●●●●、●●●●	無	無	
非常勤教員	●●　●●	非常勤講師	●●		●、●●	●●●●、●●●●	●●●●、●●●●	●	●●●	
	●●　●●	嘱託教授	●●	●●、●●	●●、●●	●●●●、●●●●	●●●●、●●●●	●	●●●	
		~~助手~~								

学位に付記する分野名称も併せて記入してください。

評価実施年度に授業科目を担当している専任の教員及び非常勤教員について記入してください。
専ら研究や管理運営にのみ従事する教員は記入しないでください。

評価実施年度に担当している授業科目を記入してください。

「実務経験」、「技術資格」の具体的な範囲は特に定めていませんので、それが自己評価書の記載内容を裏付ける情報であるかどうかを判断の上、記入してください。
例えば、教員組織の編成等において、民間企業等の経験のある者や海外での勤務経験がある者を必要と考え配置している場合、これらについて、自己評価書での記載内容と関連しており、根拠情報として考えられるのであれば記載してください。
技術資格についても同様です。国家資格でないと記入してはいけない、ということではありません。

令和２年11月の高等専門学校設置基準の一部改正に伴い、一定の要件を満たす実務家教員を「みなし専任教員」とすることが可能となっています。
同設置基準第８条の２に定めるみなし専任教員がいる場合は、該当する教員について備考欄に「みなし専任」と記載してください。いる場合は様式２－１にも影響します。

特任・嘱託等の場合は、その旨も記載してください。

「助手」については、教育研究の補助を主たる職務とするものと位置付けられているため、本票に記載しないでください。

行が足りない場合は、適宜追加してください。

記入要領

１．シートについて
・各教員の担当状況に応じて、担当教員を、様式内のいずれか１つのシートに分類し、データを記入してください。
「１．一般科目担当教員の専門分野と担当授業科目」
「２－１～２－○．専門科目担当教員の専門分野と担当授業科目（○○学科）」
「３．その他担当教員の専門分野と担当授業科目」
・学科数に応じて適宜、シートを追加又は削除の上、使用してください。
・１つの学科の下に複数のコース等の組織を設置し、コース等単位での教員配置を行っている場合は、コース別にシートを作成してもかまいません。
・「２－１～２－○．専門科目担当教員の専門分野と担当授業科目（○○学科）」の場合、当該シート１行目のタイトルを「２－○．専門科目担当教員の専門分野と担当授業科目（○○学科△△コース）」等とし、シート名を「2-○.【専門】○○学科△△コース」等としてください。

２．担当教員の分類の考え方について
・準学士課程における担当状況をもとに各教員を「１.一般科目担当教員」又は「２.専門科目担当教員」に分類してください。
専攻科課程の授業科目のみを担当する教員等については「３.その他担当教員」に分類してください。

（例）　教員Ａが準学士課程において、一般科目及び専門科目の双方、又は複数の学科の授業科目を担当している場合
→　該当する全てのシートに記入してください。
その場合、様式２－１高等専門学校現況票の「教育組織及び教員・教育支援者等【基準２】」欄において、当該教員を計上している方の学科等のシートの該当備考欄には、他のシートにも再掲がある旨を記載してください。
（該当学科名及び授業科目名も併せて記載してください。

３．専任の教員及び非常勤教員の考え方について
・当該教員が当該高等専門学校における教育研究活動を本務とし、これに従事する時間などの割合が他に従事する業務などと比べて著しく高い、フルタイム勤務の場合には、専任の教員としてください。
・当該教員の１週間当たりの通常の労働時間が、職務が同種のもので占める専任の教員の１週間当たりの通常の労働時間に比し短い、短時間勤務の場合には、非常勤教員としてください。

（例）　教員の再雇用に関する規程を定めており、フルタイム勤務の再雇用教員を特任教員、
短時間勤務の再雇用教員を嘱託教員として定めている場合
→　勤務形態に係る規定に基づいて判断し、特任教員を専任の教員、嘱託教員を非常勤教員として分類してください。

記入例・記入要領（様式２－４）

様式２－４

卒業（修了）者進路実績表　【小平工業高等専門学校】

１．卒業（修了）者の就職率（○○～○○年度）

令和●●年４月１日現在

調査実施“前”年度までの過去５年間に卒業した（修了）者に関する情報を記入してください。

(1)就職希望者数

	○○年度								○○年度								○○年度								○○年度								○○年度						
	準学士課程					専攻科課程			準学士課程					専攻科課程			準学士課程					専攻科課程			準学士課程					専攻科課程			準学士課程					専攻科課程		
学科・専攻名	M	E	J	A	B	AP	D’		M	E	J	A	B	AP	D’		M	E	J	A	B	AP	D’		M	E	J	A	B	AP	D’		M	E	J	Z		AP	D’	
就職希望者数（人）	6	12	4	8	12	3	2		6	5	12	4	17	2	3		16	10	9	6	21	1	5		9	10	17	12	10	7	2		11	7	11	20		9	7	

Ａ学科、Ｂ学科を廃止・改組し、Ｚ学科を設置した場合（Ａ学科、Ｂ学科を融合させてＺ学科を設置した場合）
→　設置した年度はＺ学科、それ以前はＡ学科、Ｂ学科それぞれのデータを記入してください。

(2)就職者数

	○○年度								○○年度								○○年度								○○年度								○○年度						
	準学士課程					専攻科課程			準学士課程					専攻科課程			準学士課程					専攻科課程			準学士課程					専攻科課程			準学士課程					専攻科課程		
学科・専攻名	M	E	J	A	B	AP	D’		M	E	J	A	B	AP	D’		M	E	J	A	B	AP	D’		M	E	J	A	B	AP	D’		M	E	J	Z		AP	D’	
就職者数（人）	6	12	4	7	12	3	2		6	5	12	4	17	2	3		16	10	9	6	21	1	5		9	10	17	12	10	7	2		11	7	11	19		9	7	

Ｄ学科をＤ’学科に名称変更した場合
→　Ｄ’学科として記入してください。名称変更以前の年度のデータについてはＤ学科のものを記入してください。

(3)就職率＝就職者数／就職希望者数

	○○年度								○○年度								○○年度								○○年度								○○年度						
	準学士課程					専攻科課程			準学士課程					専攻科課程			準学士課程					専攻科課程			準学士課程					専攻科課程			準学士課程					専攻科課程		
学科・専攻名	M	E	J	A	B	AP	D’		M	E	J	A	B	AP	D’		M	E	J	A	B	AP	D’		M	E	J	A	B	AP	D’		M	E	J	Z		AP	D’	
就職率（%）	100%	100%	100%	88%	100%	100%	100%		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		100%	100%	100%	95%		100%	100%	

※　学科・専攻名の略称
「M」＝機械工学科　　「ＡＰ」＝生産システム工学専攻
「E」＝電子工学科　　「D’」＝電子・情報システム工学専攻
「Ｊ」＝電子情報工学科
「Ａ」＝物質工学科
「Ｂ」＝材料工学科
「Ｚ」＝物質材料工学科

学科等の略称は必ず正式名称を記載してください。

記入要領
○　学科・専攻ごとに就職希望者数、就職者数、就職率を記入してください。

就職希望者数、就職者数、就職率の考え方
１．　就職希望者とは、卒業（修了）年度中に就職活動を行い、卒業（修了）後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業（修了）後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。
２．　就職者とは、就職希望者のうち、正規の職員（１年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいいます。
３．　就職率とは、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者数で除したものを百分率（小数点第２位を切り捨て）で示してください。

卒業（修了）者進路実績表　【小平工業高等専門学校】

２．卒業（修了）者の産業別就職状況（〇〇年度）

令和●●年４月１日現在

	就職者数							
	機械工学科	電子工学科	電子情報工学科	物質材料工学科	合計	生産システム工学専攻	電子・情報システム工学専攻	合計
A. 農業、林業								
B. 漁業								
C. 鉱業、採石業、砂利採取業								
D. 建設業				5	5			
E. 製造業	6	4	2	5	17	3	4	7
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	2			1	3			
G. 情報通信業			3		3	1		1
H. 運輸業、郵便業		1		2	3		1	1
I. 卸売業・小売業	1		2		3			
J. 金融業・保険業						1		1
K. 不動産業、物品賃貸業								
L. 学術研究、専門・技術サービス業			1	4	5	3	2	5
M. 宿泊業、飲食サービス業								
N. 生活関連サービス業、娯楽業								
O. 教育、学習支援業								
P. 医療、福祉								
Q. 複合サービス事業								
R. サービス業（他に分類されないもの）	1	2	3		6	1		1
S. 公務（他に分類されるものを除く）	1			2	3			
T. 分類不能の産業								
合計	11	7	11	19	48	9	7	16

略称ではなく、正式名称で記載してください。

記入要領

〇　学科・専攻ごとに日本標準産業分類大分類別の就職者数を記入してください。

１．　調査実施“前”年度について、就職者数を記入してください。それ以前の分は不要です。

２．　日本標準産業分類大分類については、総務省統計局ウェブサイト（http://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/index/seido/sangyo/26index.htm）等の情報を参考にしてください。

卒業（修了）者進路実績表　【小平工業高等専門学校】

３．卒業（修了）者の進学率（○○～○○年度）

令和●●年４月１日現在

調査実施“前”年度までの過去５年間に卒業した（修了）者に関する情報を記入してください。

(1)進学希望者数

	○○年度								○○年度								○○年度								○○年度								○○年度							
	準学士課程					専攻科課程			準学士課程					専攻科課程			準学士課程					専攻科課程			準学士課程					専攻科課程			準学士課程					専攻科課程		
学科・専攻名	M	E	J	A	B	AP	D’		M	E	J	A	B	AP	D’		M	E	J	A	B	AP	D’		M	E	J	A	B	AP	D’		M	E	J	Z		AP	D’	
進学希望者数（人）	29	23	19	32	28	21	15		31	30	20	30	20	20	11		32	26	24	32	16	18	11		20	22	16	32	30	8	7		27	27	18	60		13	7	

Ａ学科、Ｂ学科を廃止・改組し、Ｚ学科を設置した場合（Ａ学科、Ｂ学科を融合させてＺ学科を設置した場合）
→　設置した年度はＺ学科、それ以前はＡ学科、Ｂ学科それぞれのデータを記入してください。

(2)進学者数

	○○年度								○○年度								○○年度								○○年度								○○年度							
	準学士課程					専攻科課程			準学士課程					専攻科課程			準学士課程					専攻科課程			準学士課程					専攻科課程			準学士課程					専攻科課程		
学科・専攻名	M	E	J	A	B	AP	D’		M	E	J	A	B	AP	D’		M	E	J	A	B	AP	D’		M	E	J	A	B	AP	D’		M	E	J	Z		AP	D’	
進学者数（人）	29	23	19	32	28	21	15		31	30	20	30	20	20	11		32	26	24	32	16	18	11		20	22	16	32	30	8	7		25	25	18	59		13	7	

Ｄ学科をＤ’学科に名称変更した場合
→　Ｄ’学科として記入してください。名称変更以前の年度のデータについてはＤ学科のものを記入してください。

(3)進学率＝進学者数／進学希望者数

	○○年度								○○年度								○○年度								○○年度								○○年度							
	準学士課程					専攻科課程			準学士課程					専攻科課程			準学士課程					専攻科課程			準学士課程					専攻科課程			準学士課程					専攻科課程		
学科・専攻名	M	E	J	A	B	AP	D’		M	E	J	A	B	AP	D’		M	E	J	A	B	AP	D’		M	E	J	A	B	AP	D’		M	E	J	Z		AP	D’	
進学率（%）	100%	100%	100%	88%	100%	100%	100%		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		100%	100%	100%	95%		100%	100%	

※　学科・専攻名の略称
「M」＝機械工学科　　「ＡＰ」＝生産システム工学専攻
「E」＝電子工学科　　「D’」＝電子・情報システム工学専攻
「Ｊ」＝電子情報工学科
「A」＝物質工学科
「B」＝材料工学科
「Ｚ」＝物質材料工学科

学科等の略称は必ず正式名称を記載してください。

記入要領
○　学科・専攻ごとに進学希望者数、進学者数、進学率を記入してください。

進学希望者数、進学者数、進学率の考え方
１．　進学希望者とは、卒業（修了）年度中に進学先の入学試験を受け、卒業（修了）後速やかに進学することを希望する者をいい、卒業（修了）後の進路として「就職」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。
２．　進学者とは、進学希望者のうち、正規の学生として最終的に進学した者をいいます。
３．　進学率とは、進学希望者に占める進学者の割合をいい、調査時点における進学者数を進学希望者数で除したものを百分率（小数点第２位を切り捨て）で示してください。

卒業（修了）者進路実績表　【小平工業高等専門学校】

４．卒業（修了）者の進学先（〇〇年度）　令和●●年４月１日現在

(1)卒業者の進学先（〇〇年度）

大学・高等専門学校名	学部・専攻科名	学科・課程名	進学者数
小平大学	農学部	食生命科学科・バイオサイエンスコース	20
小平大学	農学部	地域総合農学科	19
小平大学	理工学部	システム創成工学科電気電子通信コース	8
小平工業大学	理工学域	社会基盤学類	7
小平工業大学	理工学域	生命理工学類・生命システムコース	16
小平工業大学	工学部	電気電子工学科	5
小平工業大学	工学部	コンピュータ理工学科	5
小平工業大学	工学部	機械工学科	13
小平工業大学	理学部	数学科	15
小平工業高等専門学校	専攻科	生産システム工学専攻	10
小平工業高等専門学校	専攻科	環境工学専攻	7
小平ITクリエイター専門学校			2
大　学　編　入　学　者　　計			108
専　攻　科　進　学　者　　計			17
そ　の　他　　計			2
総　　計			127

(2)修了者の進学先（〇〇年度）

大学名	研究科名	専攻名	進学者数
小平大学大学院	情報理工学研究科	ネットワーク工学専攻	5
小平大学大学院	情報工学研究科	コンピュータサイエンス専攻	3
小平技術科学大学大学院	工学研究科	電気電子情報工学専攻	3
小平工業大学大学院	生命体工学研究科	人間知能システム工学専攻	7
九州工業大学大学院	総合理工学府	総合理工学専攻	2
総　　計			20

記入要領

〇　卒業者の進学先の大学・高等専門学校名、学部・専攻科名、学科・課程名及びそれぞれへの進学者数、また、修了者の進学先の大学名、研究科名、専攻名及びそれぞれへの進学者数を記入してください。

記入例・記入要領（様式２－５）

様式２－５

記入要領
○全項目が学校教育法施行規則第172条の２及びその他法令により、公表を求められている内容のため、漏れなく記入してください。
○財務諸表等の一部を除き、原則、学校自身で公表しているWEBサイトのURLを張り付けてください。
○各項目において留意すべき点は、「学校教育法施行規則等の一部を改正する省令の施行について（通知）」（22文科高第236号）を参考にしてください。

ウェブサイト掲載項目チェック表【小平高等専門学校】

チェック項目	該当URL	備　考
【法令・評価基準要求項目】	項目ごとにウェブサイトのＵＲＬを記入してください。	
■ 財務諸表	https https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/	高専機構本部Webサイト
■ 自己点検・評価の公表状況	https https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/	
【学校教育法施行規則第172条の２（〇〇年度～）に係る項目】		
①高専の教育上の目的及び三つの方針に関する情報		
■ 学科ごとの教育上の目的	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/	
■ 専攻ごとの教育上の目的	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/	
■ 卒業の認定に関する方針	準：　https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/ 専：　https://www.niad.ac.jp/■▲●■▲●/	学科・専攻ごとに内容が異なる場合は、それぞれの該当ＵＲＬを記入してください。
■ 教育課程の編成及び実施に関する方針	準：　https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/ 専：　https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/	
■ 入学者の受入れに関する方針	準：　https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/ 専：　https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/	
②教育上の基本組織に関する情報		
■ 学科の名称	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/	「令和●年度小平工業高等専門学校 学校要覧」P15～22
■ 専攻の名称	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/	
③教員及び教員組織に関する情報		
■ 教員数	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/	学校要覧p9
■ 教員組織内の役割分担	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/	学校要覧p10
■ 年齢構成	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/	学校要覧p11
■ 男女別の人数	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/	学校要覧p12
■ 職別の人数	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/	学校要覧p13
■ 教員の保有学位、業績、職務上の実績	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/	学位（本校HP），業績及び実績（researchmap）
※高等専門学校設置基準の基幹教員に関するの規定を適用している場合は、以下の４項目についても回答すること。		
■ 基幹教員数（専ら当該学校の教育研究に従事する基幹教員と、それ以外の基幹教員の別）	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/	学校要覧p13
■ 基幹教員の学位・教育研究業績・経歴・所属・担当科目（科目名、単位数）	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/	学位（本校HP），業績及び実績（researchmap）
■ 基幹教員の教育課程編成その他学科の運営への参画の状況	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/	
■ 他校での基幹教員としての勤務状況	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/	
④学生に関する情報		
■ 学科、専攻の収容定員	準：　https:// 専：　https://	学校要覧P.７参照
■ 学科、専攻の入学定員（編入学定員含む）	準：　https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/ 専：　https://www.niad.ac.jp/▼▼▼▼■■■■■/ 専：　https	第13条　別表第1～2 第47・48条　別表第3～4 第8条
■ 入学者数、編入学者数	準：　https 専：　https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/	募集要項に掲載 募集要項に掲載
■ 在学者数	準：　https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/ 専：　https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/	

基幹教員制度を導入している場合のみ記入してください。

学則等の規則が該当する場合は「備考」欄に該当する条番号を記入してください。

同一項目において複数箇所に掲載している場合は、記入欄を適宜追加してください。

ウェブサイト掲載項目チェック表【小平高等専門学校】

チェック項目	該当URL	備　考
■ 卒業者（修了者）数	準： https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/ 専： https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/	
■ 進学者数	準： https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/ 専： https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/	HOME>情報公開>教育研究情報の公表>卒業・修了後の進路（進学先・就職先）
■ 就職者数	準： https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/ 専： https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/	URLのみでは資料の場所が判らない場合は場所等について補足してください。
■ 卒業後の進路（進学及び就職先の状況）	準： https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/ 専： https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/	
⑤教育課程に関する情報		
■ 授業科目の名称（学則の別表、授業科目一覧等）	準： https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/ 専：	学則別表第２
■ 授業の方法及び内容並びに１年間の授業計画の概要（学期ごとのシラバス）	準： https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/ 専：	学則別表第５
⑥学修の成果に関する情報		
■ 成績評価基準	準： https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/ 専： https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/	学業成績の評価並びに課程の修了及び卒業の認定に関する規程 専攻科の授業科目の履修に関する規程
■ 進級単位がある場合、進級認定基準（進級に必要な単位数を含む）	準： https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/ 専： https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/	学業成績の評価並びに課程の修了及び卒業の認定に関する規程
■ 卒業（修了）認定基準（卒業（修了）に必要な単位数（必修、選択、自由科目別）含む）	準： https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/ 専： https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/	学校要覧P12～23　教育課程表に修得単位数として記載
■ 取得可能な称号	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/	
⑦学習環境に関する情報		
■ キャンパス概要	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/	
■ 運動施設の概要	htt	
■ 課外活動の情報（状況や使用施設等）	htt	学校HPトップページ「お知らせ」内「トピック」タブに学生活動記事を集約
■ 学習環境、休憩環境	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/	
■ 所在地、交通手段	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/	
⑧学生納付金に関する情報		
■ 授業料	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/	
■ 入学料	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●	
■ 入学検定料	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/	募集要項p9「３．出願手続」内に掲載
■ 学生寮等の宿舎の費用	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/	
■ 教材購入費	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/	
■ 施設利用料等の費用		該当なし
⑨学生支援と奨学金に関する情報		
■ 学生支援（修学支援、進路選択支援、心身の健康に係る支援、障害者支援、留学生支援など）	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/	
■ 奨学金の概要（奨学金の種類、要件、申し込み方法等）	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●/	

キャンパスごとに内容が異なる場合は、記入欄を追加し、それぞれの該当ＵＲＬを記入してください。